

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201943
事業所名	アバンセグループホームこころ

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価 ○
	町内会加入。 地域の行事(防災訓練、など)施設の秋祭り、クリスマス会などに、近隣住民、家族の参加を呼びかけ開催している。 散歩時、買い物、喫茶店利用時などに、声掛けや、なじみの交流作りがある。	
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価 ○
	活動、研修、状況、報告があり、質疑応答などがある。 地域の参加者などから、緊急時、火災時などへの応援体制の提案など、積極的な提案などがある。 会議の資料に、入居者の行事参加や、日常の様子を写真で分かるように資料でつけ、わかりやすい運営がされている。	
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価 ○
	推進会議への、行政の毎回参加がある。意見、指摘など、運営方法や、市の行事、地域との連携など全般にわたる交流がある。日常的な相談や、交流がある。 事業所講習会への参加。 市高齢福祉課、地域包括支援センターなどとの連携で、地域住民の相談への対応がある。	
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価 ○
	意見箱の設置。 年8回程度の「こころいきき通信」の発行。 来訪時、計画作成時、行事への参加などの時を利用し、意見要望の把握、対応がある。 推進会議時で質疑応答での家族表などからの意見要望の把握がある。	
重点項目 ⑤		評価 ○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。